

日本災害情報学会 20周年記念大会 日本災害復興学会 10周年記念大会



合同大会 学会大会プログラム



平成30年(2018年)10月26日(金)~28日(日)
会場: 東京大学本郷キャンパス(東京都文京区本郷7-3-1)

◎10月26日(金)

13:00	受付開始	[安田講堂]
13:30-17:00	合同大会記念シンポジウム	[安田講堂]

◎10月27日(土)

09:00	受付開始	[法学政治学総合教育棟401教室(模擬法廷教室)]
災害情報学会 09:30-10:40	口頭発表(セッション1)	[2日目A・B・C会場]
災害情報学会 10:50-12:00	口頭発表(セッション2)	[2日目A・B・C会場]
災害復興学会 09:30-12:00	分科会Ⅰ・Ⅲ	[分科会第1・2会場]
12:00-12:30	お昼休み	
合同 12:30-14:00	ポスターセッション	[ポスター会場]
災害情報学会 14:00-16:30	総会(情報)・廣井賞授与式・記念講演	[文学部大教室]
災害情報学会 16:30-18:30	実行委員会緊急企画	[文学部大教室]
災害復興学会 14:00-16:30	分科会Ⅱ・Ⅳ	[分科会第1・2会場]
災害復興学会 16:45-18:15	全体会議	[分科会第1会場]
18:30-20:00	交流会	[本郷キャンパス内 生協中央食堂]

◎10月28日(日)

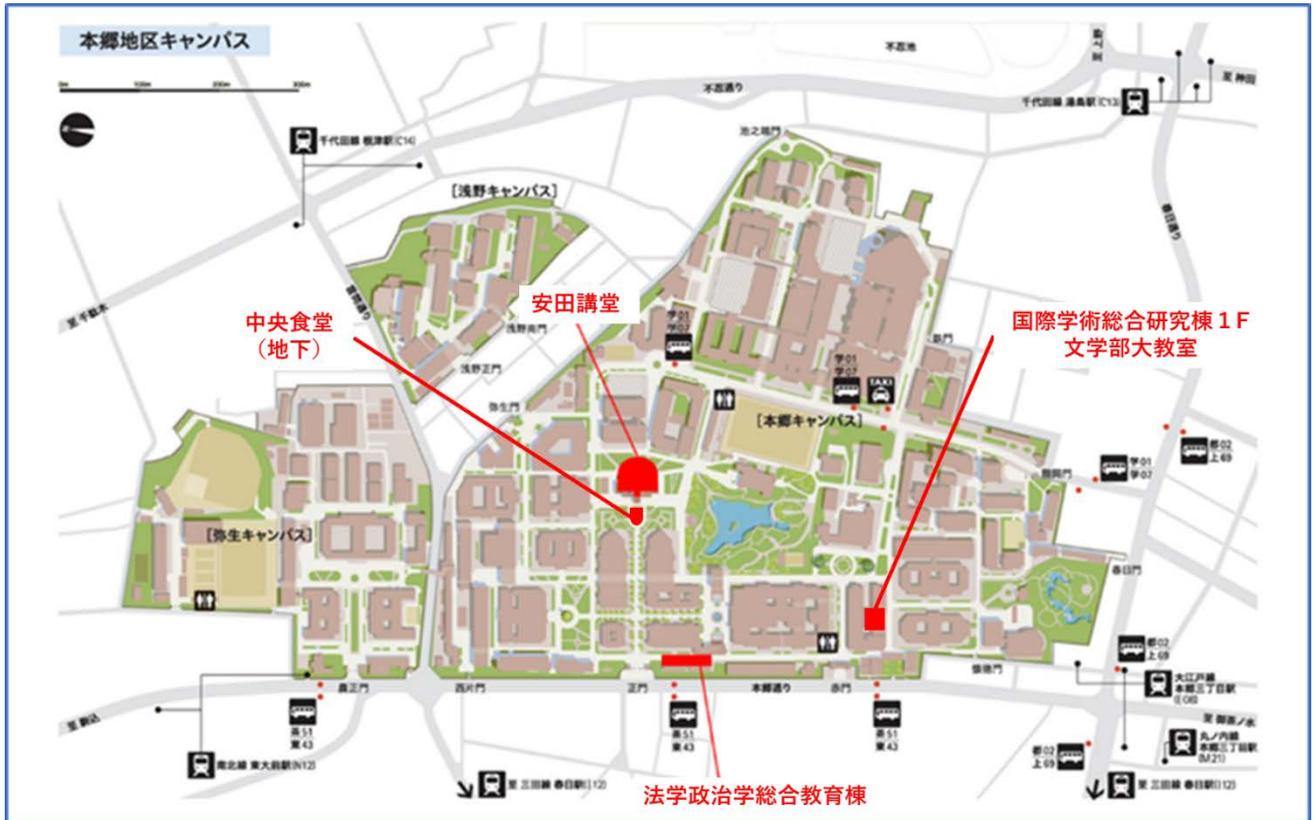
09:00	受付開始	[法学政治学総合教育棟401教室(模擬法廷教室)]
合同 09:30-10:40	口頭発表(セッション3)	[3日目A・B・C・D会場]
合同 10:50-12:00	口頭発表(セッション4)	[3日目A・B・C・D会場]
12:00-13:00	お昼休み	
合同 13:00-14:25	口頭発表(セッション5)	[3日目A・B・C・D会場]
合同 14:35-15:45	口頭発表(セッション6)	[3日目A・B・C・D会場]

* 口頭発表は2日目と3日目で使用教室が変わります。かならず教室を確認のうえ、ご参加ください。

* プログラムの詳細については次ページ以降をご覧ください。

◎大会会場案内

会場 東京大学本郷キャンパス（東京都文京区本郷7-3-1）



本郷三丁目駅（東京メトロ丸の内線） 徒歩 8分
 根津駅（東京メトロ千代田線） 徒歩 10分
 春日駅（都営三田線） 徒歩 15分

本郷三丁目駅（都営大江戸線） 徒歩 8分
 東大前（東京メトロ南北線） 徒歩 5分

◎発表会場など

- 〔大会記念シンポジウム受付〕 安田講堂
- 〔大会記念シンポジウム〕 安田講堂
- 〔大会参加受付〕 法学政治学総合教育棟 401 教室（模擬裁判教室）
- 〔分科会〕 分科会第1会場：法学政治学総合研究棟 101 教室
 分科会第2会場：法学政治学総合教育棟 102 教室
- 〔全体会議〕 分科会第1会場：法学政治学総合教育棟 101 教室
- 〔口頭発表〕 2日目A会場：法学政治学総合教育棟 201 教室
 2日目B会場：法学政治学総合教育棟 203 教室
 2日目C会場：法学政治学総合教育棟 204 教室
 3日目A会場：法学政治学総合教育棟 101 教室
 3日目B会場：法学政治学総合教育棟 102 教室
 3日目C会場：法学政治学総合教育棟 201 教室
 3日目D会場：法学政治学総合教育棟 203 教室

- [ポ ス タ ー 発 表] ポスター会場：法学政治学総合教育棟 402・403・404 教室
 [交 流 会] 生協中央食堂（本郷キャンパス内）
 [総 会 （ 情 報 ）] 国際学術総合研究棟 1 階 文学部大教室
 [廣井賞授与式・記念講演] 国際学術総合研究棟 1 階 文学部大教室

◎参加費など

		両方もしくはいずれかの学会に入会している方		いずれの学会にも入会していない方	
		一般会員	学生会員	一般の方	学生の方
参加費		2,000円	1,000円	4,000円	2,000円
予稿集代	日本災害情報学会	2,000円	1,000円	4,000円	2,000円
	日本災害復興学会	2,000円	1,000円	4,000円	2,000円
交流会費		5,000円	3,000円	5,000円	3,000円

◎注意事項

- ① 1日目の大会記念シンポジウム受付は安田講堂、2・3日目の大会参加受付は法学政治学総合教育棟 401 教室となります。
- ② 口頭発表・ポスター発表ともに、skype 等の web を介した遠隔地からの発表を禁止しています。発表者は、かならず会場に来場のうえで発表を行うようにしてください。
- ③ 口頭発表は2日目と3日目で使用教室が変更となります。かならず、教室を確認のうえ、参加をするようにお願いします。
- ④ 2日目のポスターセッションで発表される方は、まず大会参加受付を済ませてから、12:30 までに、ポスター会場にてポスターの掲示を行ってください。掲示に必要な画鋏・テープは合同大会実行委員会で用意します。
- ⑤ ポスターの掲示が可能な時間は、3日目の 13:00 までとなります。時間までに、ご自身のポスターを撤去するようにしてください。また、合同大会実行委員会ではポスターの保管・処分をいたしませんので、撤去したポスターはかならずご自身で持ち帰ってください。
- ⑥ 学会大会で使用する（指定された）会場以外の教室・会議室等には、絶対に入室しないでください。
- ⑦ 発生したごみについては、各自でお持ち帰りいただくようにお願いします。
- ⑧ 大会記念シンポジウム会場の安田講堂は、飲食厳禁となっています。会場内での飲食はなさらないようお願いいたします。その他の会場については、飲食可能となっていますが、臭いの強いものなど周囲の迷惑となる飲食物はお控えください。
- ⑨ キャンパス内は指定された喫煙所を除き、すべて禁煙となっています。喫煙をされる方は、喫煙所を利用するようにお願いします。
- ⑩ キャンパス内のコピー機は使用できない場合があります。コンビニエンスストアのコピー機は自費にて利用できます。
- ⑪ タクシー、宿泊などの手配が必要な場合は、各自でお願いいたします。

- ⑫ 貴重品の管理は各自の責任においてお願いいたします。万が一、盗難等の被害が発生しても、合同大会実行委員会では一切の責任を負えません。

日本災害情報学会 20 周年記念大会
日本災害復興学会 10 周年記念大会
合同大会
口頭発表目次

* 本大会では、2 日目と 3 日目で使用教室が変わります。
かならず教室を確認の上、参加をお願いいたします。

A 会場

2 日目セッション ■■A 会場 法学政治学総合教育棟 201 教室■■■

2 日目セッション1 09:30-10:40 ■■A 会場 法学政治学総合教育棟 201 教室■■■

A1 〔災害情報学会セッション〕 西日本豪雨 I (座長: 阪本真由美)

A1-1 〔情報〕 2018 年西日本豪雨災害における「#救助」ツイートの傾向:

2017 年 7 月九州北部豪雨災害との比較

○佐藤翔輔 (東北大学災害科学国際研究所)

今村文彦 (東北大学災害科学国際研究所)

A1-2 〔情報〕 平成 30 年 7 月豪雨による人的被害の特徴(序報)

○牛山素行 (静岡大学防災総合センター)

本間基寛 (日本気象協会)

横幕早季 (静岡大学防災総合センター)

杉村晃一 (静岡市役所)

A1-3 〔情報〕 平成 30 年 7 月豪雨アルミ工場爆発後の避難状況調査

○荒木裕子 (名古屋大学減災連携研究センター)

ピニエイロ アベウ タイチ コンノ (神戸大学大学院工学研究科)

北後明彦 (神戸大学都市安全研究センター)

A1-4 〔情報〕 平成 30 年 7 月豪雨災害における避難行動に関する考察

—岡山県倉敷市真備町の住民意識調査より—

○阪本真由美 (兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科)

松多信尚 (岡山大学大学院教育学研究科)

廣井悠 (東京大学大学院工学系研究科)

2 日目セッション2 10:50-12:00 ■■A 会場 法学政治学総合教育棟 201 教室■■■

A 2〔災害情報学会セッション〕 西日本豪雨Ⅱ（座長：平山修久）

A2-1 〔情報〕被災地域住民から見た平成30年7月豪雨災害における発災直後の情報課題

- 宮川祥子（慶應義塾大学 看護医療学部）
- 神原咲子（高知県立大学大学院看護学研究科）
- 畑山満則（京都大学防災研究所）

A2-2 〔情報〕GPS データを利用した平成30年7月豪雨時の移動状況分析と道路状況把握の基礎的検討

- 廣井慧（名古屋大学大学院工学研究科）

A2-3 〔情報〕2018年7月豪雨による西日本豪雨災害からみた上水道施設の水害リスクに関する検討

- 杉浦純一（名古屋大学減災連携研究センター（日水コン水道事業部））
- 平山修久（名古屋大学減災連携研究センター）

A2-4 〔情報〕平成30年7月豪雨による岡山県倉敷市真備町の災害廃棄物量（速報値）の推定

- 平山修久（名古屋大学減災連携研究センター）
- 伊藤悠一郎（名古屋大学大学院工学研究科）
- 中村晋一郎（名古屋大学大学院工学研究科）

3日目セッション ■■A会場 法学政治学総合教育棟 101教室■■

3日目セッション3 09:30-10:40 ■■A会場 法学政治学総合教育棟 101教室■■

A 3〔災害情報学会セッション〕 水害Ⅰ（座長：黒田洋司）

A3-1 〔情報〕平成30年7月豪雨における河川水位、洪水予報、避難勧告・指示及び氾濫発生に関する時系列分析

- 大沼克弘（金沢大学大学院自然科学研究科）

A3-2 〔情報〕全国ならびに都道府県別の浸水想定区域内人口の推移

- 秦康範（山梨大学 地域防災・マネジメント研究センター）
- 前田真孝（山梨大学工学部土木環境工学科 卒業生）

A3-3 〔情報〕大規模洪水時の広域避難体制の構築～利根川中流域での検討～

- 細井教平（株式会社アイ・ディー・エー 社会技術研究所）
- 片田敏孝（東京大学大学院特任教授 情報学環 総合防災情報研究センター）

三橋さゆり（国土交通省関東地方整備局利根川上流河川事務所 所長）

A3-4 〔情報〕風水害における避難の指示等の意思決定と組織間関係についての予備的考察

○黒田洋司（消防防災科学センター）

3日目セッション4 10:50-12:00 ■■A会場 法学政治学総合教育棟 101教室■■

A4〔災害情報学会セッション〕 水害Ⅱ（座長：中村功）

A4-1 〔情報〕GPS情報を用いた平成29年7月九州北部豪雨における住民の行動の可視化

○本山洸矢（山梨大学 工学部 土木環境工学科）

秦康範（山梨大学地域防災・マネジメント研究センター）

A4-2 〔情報〕「平成29年7月九州北部豪雨」における住民の防災情報認知と避難行動調査

○入江さやか（NHK放送文化研究所メディア研究部）

A4-3 〔情報〕豪雨時における災害危険度の高まりを推定するための電話通報数の活用について
—2017年7月九州北部豪雨時の検討—

○塩崎竜哉（多治見市役所）

杉村晃一（静岡市役所）

牛山素行（静岡大学防災総合センター）

A4-4 〔情報〕避難勧告伝達における陥穽 —2017年九州北部豪雨災害時の朝倉市を例に—

○中村功（東洋大学 社会学部 メディアコミュニケーション学科）

3日目セッション5 13:00-14:25 ■■A会場 法学政治学総合教育棟 101教室■■

A5〔合同セッション〕 東日本大震災（座長：天野和彦）

A5-1 〔情報〕正常性バイアスのジレンマを検証する：

東日本大震災津波避難データと感情制御脳科学の視点

○杉浦元亮（東北大学加齢医学研究所／災害科学国際研究所）

本多明生（静岡理工科大学情報学部）

A5-2 〔情報〕女性週刊誌は福島第一原子力発電所事故をどう報じたか

○矢内真理子（同志社大学 学習支援・教育開発センター）

A5-3 〔復興〕東日本大震災における震災遺構の成立に関する比較研究

—仙台市と気仙沼市を事例にして—

○佐藤翔輔（東北大学災害科学国際研究所）

川島秀一（東北大学災害科学国際研究所）

今村文彦（東北大学災害科学国際研究所）

A5-4 〔復興〕東日本大震災の復興におけるリーダーのあり方についての考察

○久保稔（関西大学大学院社会安全研究科 博士課程後期課程）

土田昭司（関西大学社会安全学部教授）

A5-5 〔復興〕復興の向こう側にあるもの - ふくしま連携復興センターの取り組み

○天野和彦（福島大学うつくしまふくしま未来支援センター）

3日目セッション6 14:35-15:45 ■■A会場 法学政治学総合教育棟 101教室■■

A6〔合同セッション〕 防災論（座長：及川康）

A6-1 〔情報〕学校防災教育の課題克服のためのアクションリサーチ

○岡田夏美（京都大学情報学研究科）

矢守克也（京都大学防災研究所）

A6-2 〔復興〕被災地と被災地をむすぶ実践 -物神化するモノと象徴的な意味の共有-

○大門大朗（大阪大学大学院 人間科学研究科）

渥美公秀（大阪大学大学院 人間科学研究科）

A6-3 〔情報〕人災論を乗り越えるために

○城下英行（関西大学社会安全学部）

A6-4 〔情報〕防災の責任の所在について

○及川康（東洋大学理工学部都市環境デザイン学科）

片田敏孝（東京大学大学院情報学環）

B会場

2日目セッション ■■B会場 法学政治学総合教育棟 203教室■■

2日目セッション1 09:30-10:40 ■■B会場 法学政治学総合教育棟 203教室■■

B1〔災害情報学会セッション〕 情報技術I（座長：森山聡之）

B1-1 〔情報〕消防活動での無人航空機の利活用に向けた現状と課題

○樫原茂（奈良先端科学技術大学院大学先端科学技術研究科）

山本篤史（高知市消防局）

松崎健太（高知市消防局）
宮崎康成（高知市消防局）
関智也（高知市消防局）
浦川豪（兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科）
福本昌弘（高知工科大学情報学群）
太田能（神戸大学大学院科学技術イノベーション研究科）

B1-2 〔情報〕三重県南伊勢町におけるUAV斜め空撮写真共有システムの活用と
スマートフォン写真への拡張

○杉田暁（中部大学 中部高等学術研究所 国際GISセンター）
井上公（防災科学技術研究所）
旭佑治（株式会社 デジタルアース・ラボ）
瀬古智秀（南伊勢町役場）
伊藤宏（特定非営利活動法人 ドゥチュウブ）
國澤和義（株式会社 ファルコン）
古瀬勇一（株式会社 ファルコン）
福井弘道（中部大学 中部高等学術研究所 国際GISセンター）

B1-3 〔情報〕大規模震災に備えた災害情報のGIS表示について

○松浦孝英（中部大学大学院工学研究科）
佐藤至弘（テラ・ラボ）

B1-4 〔情報〕LoRaを用いた河川水位センサーシステムの開発

○森山聡之（福岡工業大学社会環境学科）
森下功啓（熊本高等専門学校建築社会デザイン工学科）
和泉信生（sitateru ビジネス開発部）
寺村淳（九州大学大学院工学研究院）
田浦扶充子（九州大学大学院工学研究院）
池松伸也（九州大学工学部）
浜田晃規（福岡大学工学部）

2日目セッション2 10:50-12:00 ■■B会場 法学政治学総合教育棟 203教室■■

B2〔災害情報学会セッション〕 情報技術Ⅱ（座長：本間基寛）

B2-1 〔情報〕高齢者が災害時に利活用するスマートフォンの防災系アプリの可能性

○水野一成（NTTドコモ モバイル社会研究所）

B2-2 〔情報〕浸水の危険性を「わがこと」として実感できる拡張現実スマートフォン

アプリの開発と避難訓練における活用

○板宮朋基（愛知工科大学工学部情報メディア学科）

吉村達之（三鷹中央学園三鷹市立第七小学校）

B2-3 〔情報〕南西レスキュー30における九州7県および沖縄県の広域災害情報連携

○伊勢正（国立研究開発法人 防災科学技術研究所 社会防災システム研究部門）

日高達也（国立研究開発法人 防災科学技術研究所 社会防災システム研究部門）

磯野猛（国立研究開発法人 防災科学技術研究所 社会防災システム研究部門）

臼田裕一郎（国立研究開発法人 防災科学技術研究所 社会防災システム研究部門）

B2-4 〔情報〕高解像度アンサンブル雨量予測を活用した災害リスク情報の検討

○本間基寛（日本気象協会）

増田有俊（日本気象協会）

辻本浩史（日本気象協会）

真中朋久（アクトウェザー）

3日目セッション ■■B会場 法学政治学総合教育棟 102教室■■■

3日目セッション3 09:30-10:40 ■■B会場 法学政治学総合教育棟 102教室■■■

B3 〔災害情報学会セッション〕 地震・火山I（座長：照本清峰）

B3-1 〔情報〕アンケートによる火山防災協議会に関する火山専門家の意識調査

○石峯康浩（鹿児島大学地震火山地域防災センター）

吉本充宏（山梨県富士山科学研究所火山防災研究部）

井口正人（京都大学防災研究所火山活動研究センター）

B3-2 〔情報〕活動火山対策特別措置法の改正点と運用の課題

○南沢修（長野県 危機管理部 危機管理防災課）

秦康範（山梨大学 地域防災・マネジメント研究センター）

B3-3 〔情報〕世界の大規模地震の続発性について

○橋本徹夫（気象庁気象研究所地震津波研究部）

横田崇（愛知工業大学）

B3-4 〔情報〕東日本大震災と想定南海トラフ地震の曝露量に関する比較評価

○照本清峰（関西学院大学総合政策学部都市政策学科）

3日目セッション4 10:50-12:00 ■■B会場 法学政治学総合教育棟 102教室■■■

B 4〔合同セッション〕 地震・火山Ⅱ（座長：磯打千雅子）

B4-1 〔情報〕「南海トラフ地震に関連する情報」に対する住民の対応
—避難に対する意識に着目して—

- 安本真也（東京大学大学院情報学環 総合防災情報研究センター）
石濱陵（NHK報道局 社会番組部）
森野周（NHK報道局 社会部）
関谷直也（東京大学大学院情報学環 総合防災情報研究センター）

B4-2 〔情報〕「南海トラフ地震に関連する情報」における避難意図と状況依存

- 関谷直也（東京大学大学院情報学環 総合防災情報研究センター）
安本真也（東京大学大学院情報学環 総合防災情報研究センター）
石濱陵（NHK報道局 社会番組部）
森野周（NHK報道局 社会部）

B4-3 〔復興〕災害後の自治体間支援を推進する，総務省「災害マネジメント総括支援員」の
意義と課題 —徳島県を例に—

- 三好佑亮（兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科）
青田良介（兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科）

B4-4 〔情報〕災害に対する基礎自治体の簡易的な脆弱性評価の試行 —経済指標を用いて—

- 磯打千雅子（香川大学四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構）
金田義行（香川大学四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構機構）
藤澤一仁（香川大学四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構機構）
白木渡（香川大学四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構機構）
五十嵐孝浩（パシフィックコンサルタンツ株式会社）
榎本真美（パシフィックコンサルタンツ株式会社）

3日目セッション5 13:00-14:25 ■■B会場 法学政治学総合教育棟 102教室■■■

B 5〔災害情報学会セッション〕 情報・メディアⅢ（座長：中森広道）

B5-1 〔情報〕災害復興観に現在バイアスが与える影響
～首都圏居住者に対する調査を事例として～

- 小林秀行（明治大学情報コミュニケーション学部）
田中淳（東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター）

B5-2 〔情報〕限界集落における防災意識向上策の検討

—福井市高須町・防災瓦版「たかすいかす」の実践—

- 近藤誠司（関西大学社会安全学部）
- 小山倫史（関西大学社会安全学部）

B5-3 〔情報〕 気象庁が伝えようとする危機感 —緊急・臨時記者会見からの考察—
○福島隆史（TBSテレビ報道局）

B5-4 〔情報〕 災害研究と災害報道のパラダイム・チェンジャー—そのための5つの視点—
○矢守克也（京都大学防災研究所）

B5-5 〔情報〕 平成30（2018）年1月5日の「緊急地震速報」に対する
東京都民の意識と評価
○中森広道（日本大学文理学部社会学科）

3日目セッション6 14:35-15:45 ■■B会場 法学政治学総合教育棟 102教室■■
B6〔災害情報学会セッション〕 避難論（座長：横田崇）

B6-1 〔情報〕 “ダムの限界”をネガティブな表現で伝え、避難情報に切迫感をもたせる
情報発信の提案
○木戸崇之（（株）エー・ビー・シー リブラ 制作部）

B6-2 〔情報〕 避難意図を高める知識とは何か
○田中淳（東京大学大学院情報学環）
黄斤悦（東京大学大学院学際情報学府）
小林秀行（明治大学）

B6-3 〔情報〕 避難の意思決定モデルの構築
○横田崇（愛知工業大学地域防災研究センター）
関谷直也（東京大学大学院情報学環）
赤石一英（気象庁地震火山部）
安本真也（東京大学大学院情報学環）

C会場

2日目セッション ■■C会場 法学政治学総合教育棟 204教室■■

2日目セッション1 09:30-10:40 ■■C会場 法学政治学総合教育棟 204教室■■
C1〔災害情報学会セッション〕 情報・メディアI（座長：竹田宜人）

- C1-1 〔情報〕大阪府北部地震における自治体公式サイトトップページに関する調査
○湯瀬裕昭（静岡県立大学経営情報学部経営情報学科）
鍋田真一（城南静岡高等学校）
- C1-2 〔情報〕大阪府北部地震における訪日外国人旅行者の訪日外国人旅行者に関する調査報告
○藁谷峻太郎（株式会社サーベイリサーチセンター）
石川俊之（株式会社サーベイリサーチセンター）
岩崎雅宏（株式会社サーベイリサーチセンター）
- C1-3 〔情報〕近年の災害後の避難所避難者人数の推移
○越山健治（関西大学社会安全学部）
上野咲映理（関西大学社会安全学部卒）
- C1-4 〔情報〕自然災害を原因とする工場等の爆発・火災における住民避難について
（リスクコミュニケーションに着目して）
○竹田宜人（横浜国立大学環境情報研究院）

2日目セッション2 10:50-12:00 ■■C会場 法学政治学総合教育棟 204教室■■
C2〔災害情報学会セッション〕 情報・メディアII（座長：宇田川真之）

- C2-1 〔情報〕家庭における防災対策の実施層／非実施層に特有な心理的傾向に関する検証
○北川夏樹（名古屋大学減災連携研究センター）
- C2-2 〔情報〕心配性バイアスを醸成するための津波等の浸水想定域人口の町丁目別の推計と公開の試み
○有馬昌宏（兵庫県立大学応用情報科学研究科）
鮑強（株式会社フジコー）
- C2-3 〔情報〕促進焦点を目標志向にすえた防災にみるコミュニケーション・デザインに関する考察
○小島彰吾（アイ・ディー・エー 社会技術研究所）
- C2-4 〔情報〕平常時の避難行動意図の規定要因について
～和歌山県と静岡県の実地調査結果から～
○宇田川真之（東京大学大学院情報学環 総合防災情報研究センター）
三船恒裕（高知工科大学 経済・マネジメント学群）
定池祐季（東北大学災害科学国際研究所 情報管理・社会連携部門防災教育・人材養成ユニット）
磯打千雅子（香川大学 四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構 地域強靱化研究センター）

黄欣悦（東京大学学際情報学府）

3日目セッション ■■C会場 法学政治学総合教育棟 201教室■■■

3日目セッション3 09:30-10:40 ■■C会場 法学政治学総合教育棟 201教室■■■

C3【災害情報学会セッション】 教育・継承Ⅰ（座長：金井昌信）

C3-1 【情報】津波災害を想定した車椅子移動支援に関する学習教材の作成
～0Bサーキットトレーニングの実践的評価～

○柳澤幸夫（徳島文理大学保健福祉学部理学療法学科）

山城新吾（徳島文理大学人間生活学部メディアデザイン学科）

鷲春夫（徳島文理大学保健福祉学部理学療法学科）

C3-2 【情報】Photovoice法の防災教育への応用 —被写体から撮影者へ—

○日向恵里名（慶應義塾大学総合政策学部）

小幡宣友（慶應義塾大学総合政策学部）

薄井慧（慶應義塾大学総合政策学部）

大木聖子（慶應義塾大学環境情報学部）

C3-3 【情報】緊急地震速報を用いた抜き打ち型避難訓練の児童の対応行動に関する一考察

○高井彬名（山梨大学工学部土木環境工学科）

秦康範（山梨大学 地域防災・マネジメント研究センター）

関谷直也（東京大学 大学院情報学環総合防災情報研究センター）

C3-4 【情報】保護者の避難意向を用いた防災学習プログラムの実践

○金井昌信（群馬大学大学院 理工学府広域首都圏防災研究センター）

3日目セッション4 10:50-12:00 ■■C会場 法学政治学総合教育棟 201教室■■■

C4【合同セッション】 教育・継承Ⅱ（座長：竹ノ内健介）

C4-1 【情報】震災石碑のウラに隠された情報を読む

○武村雅之（名古屋大学減災連携研究センター）

C4-2 【復興】1925年北丹大震災の記憶の継承に関する研究

—兵庫県城崎町田結の事例より—

○阪本真由美（兵庫県立大学減災復興政策研究科）

C4-3 【復興】「被災地—未災地」の交流の意味—茨城県大洗町と高知県黒潮町—

- 李勇昕（京都大学防災研究所）
- 矢守克也（京都大学防災研究所）

- C4-4 〔情報〕災害の発生が地域の災害対応にもたらす変化
ー平成 29 年九州北部豪雨 1 年後調査ー
- 竹之内健介（京都大学防災研究所）

3 日目セッション 5 13:00-14:25 ■■C 会場 法学政治学総合教育棟 201 教室■■
C5 〔合同セッション〕 教育・継承Ⅲ（座長：定池祐季）

- C5-1 〔情報〕防災教育に関する小学校教員の現況と土砂災害に関する連携授業の効果

- 林武広（比治山大学現代文化学部子ども発達教育学科）
- 土井徹（富山大学人間発達科学部）
- 藤川義範（科学わくわくプロジェクト実行委員）
- 磯崎哲夫（広島大学大学院教育学研究科）

- C5-2 〔情報〕中学生による「防災小説」が自他に与える効果

- 薄井慧（慶應義塾大学総合政策学部）
- 川崎彩奈（慶應義塾大学環境情報学部）
- 所里紗子（慶應義塾大学総合政策学部）
- 永松冬青（慶應義塾大学政策・メディア研究科）
- 大木聖子（慶應義塾大学環境情報学部）

- C5-3 〔情報〕防災教員研修へのナラティブ・アプローチの導入

- 鳥羽美礼（慶應義塾大学総合政策学部）
- 大木聖子（慶應義塾大学環境情報学部）
- パリーク亜美（慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科）
- 山口航平（慶應義塾大学環境情報学部）

- C5-4 〔情報〕課外教育を通じた GIS 援用マイ防災マップ作成の試み

- 安原一哉（NPO GIS 総合研究所いばらき）
- 中村健太郎（GIS 総合研究所いばらき）
- 須田裕之（GIS 総合研究所いばらき）

- C5-5 〔復興〕地方紙における被災地報道の変化

- ー北海道南西沖地震に関する北海道新聞の報道からー
- 定池祐季（東北大学災害科学国際研究所）

3日目セッション6 14:35-15:45 ■■C会場 法学政治学総合教育棟 201教室■■
C6〔合同セッション〕 災害支援（座長：近藤誠司）

C6-1 〔復興〕災害時支援における看護職へのブリーフィング・デブリーフィングの実態

○伊藤尚子（千葉大学大学院看護学研究科）

山崎達枝（東京医科大学看護学科）

C6-2 〔復興〕音楽家の被災地における活動の実態調査と分析

○榎田和宏（兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科 M2）

浦川豪（兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科 准教授）

C6-3 〔情報〕被災地住民と外部支援者との関係性について

～茨城県大洗町の聖地巡礼効果を事例に～

○李勇昕（京都大学防災研究所）

矢守克也（京都大学防災研究所）

C6-4 〔復興〕原発避難者の長期的な支援策に関する基礎的考察

－“折り紙ダルマ”交流事業が与える効果の分析－

○近藤誠司（関西大学社会安全学部）

長谷川奈々（東通企画）

D会場（3日目のみ）

3日目セッション ■■D会場 法学政治学総合教育棟 203教室■■

3日目セッション3 09:30-10:40 ■■D会場 法学政治学総合教育棟 203教室■■

D3〔合同セッション〕 コミュニティ（座長：澤田雅浩）

D3-1 〔復興〕山間部住民における東日本大震災-宮城県本吉郡南三陸町沿岸部／山間部間の
地域コンテキストとそこで生じた避難・移住に着目して-

○山崎真帆（一橋大学大学院社会学研究科地球社会研究専攻 博士後期課程）

D3-2 〔復興〕地域住民の復興感とコミュニティ再生の様相に関する研究

－石巻市北上地区における復興曲線インタビューの実践－

○中沢峻（弘前大学大学院地域社会研究科博士後期課程）

D3-3 〔復興〕災害前後における地域コミュニティの変動過程を読み解く分析枠組みの提示

○野坂真（早稲田大学文学学術院）

- D3-4 〔情報〕熊本地震からの復興に見る行政-住民間の合意形成
ー公民協働の阻害要因とその克服に関する一考察ー
○澤田道夫（熊本県立大学総合管理学部総合管理学科）
境大介（熊本県立大学総合管理学部総合管理学科）

3日目セッション4 10:50-12:00 ■■D会場 法学政治学総合教育棟 203教室■■
D4〔合同セッション〕 法・住宅・経済Ⅰ（座長：福田充）

- D4-1 〔情報〕防災行政施策におけるナッジの活用に関する一考察
○丸田雅靖（豊橋市役所防災危機管理課）
平山修久（名古屋大学減災連携研究センター）
- D4-2 〔情報〕住家被害に対する義援金の効果的な配分に関する考察
○青田良介（兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科）
- D4-3 〔復興〕域際収支からみた被災地経済の現実と第2層都市群の役割
○本莊雄一（兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科）
加藤恵正（兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科）
- D4-4 〔情報〕日本の高等教育機関におけるBCP策定の実態
○福田充（日本大学危機管理学部）
中森広道（日本大学文理学部）
宮脇健（日本大学危機管理学部）
山下博之（日本大学危機管理学部）

3日目セッション5 13:00-14:25 ■■D会場 法学政治学総合教育棟 203教室■■
D5〔災害復興学会セッション〕 法・住宅・経済Ⅱ（座長：岡本正）

- D5-1 〔復興〕自助・共助・公助による住宅再建の課題と展望
ー過去の対策事例を踏まえ、将来の巨大災害に向けた対策を考えるー
○青田良介（兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科）
- D5-2 〔復興〕熊本地震における住まいの再建状況 ー災害から2年目の応急仮設住宅・
災害公営住宅・住まい再建の支援策を事例にー
○宮定章（兵庫県立大学 減災復興政策研究科 客員研究員）
- D5-3 〔復興〕石巻市立大川小学校控訴審判決が明らかにしたもの

-大川小学校事故検証委員会が伝承を避けた事実の共有-

○林衛（富山大学人間発達科学部）

D5-4 〔復興〕国家による安全確保義務と国家賠償責任の関係について -後退する公助-

○金子由芳（神戸大学大学院国際協力研究科）

D5-5 〔復興〕被災者生活再建支援法及び災害救助法の適用実態に見る法改正の提言

—平成30年7月豪雨の暫定的な分析と災害ケースマネジメントの提言—

○岡本正（銀座パートナーズ法律事務所）

3日目セッション6 14:35-15:45 ■■D会場 法学政治学総合教育棟 203教室■■

D6〔災害復興学会セッション〕 復興論（座長：矢守克也）

D6-1 〔復興〕現代社会における災害復興概念の再検討

～災害社会学とリスク社会論との架橋の視点から～

○小林秀行（明治大学情報コミュニケーション学部）

D6-2 〔復興〕復興に接続する災害ボランティアに関する理論的研究

○渥美公秀（大阪大学大学院人間科学研究科）

D6-3 〔復興〕「Xがない、YがXです」-疎外論から見た地域活性化・災害復興戦略-

○矢守克也（京都大学防災研究所）

李勇昕（京都大学防災研究所）

日本災害情報学会 20 周年記念大会
日本災害復興学会 10 周年記念大会
合同大会
ポスター発表目次

ポスターセッション 2 日目 12:30-14:00

■■ポスター会場 法学政治学総合教育棟 402 教室・403 教室・404 教室■■

発表番号奇数：在席責任時間 12:30-13:15

発表番号偶数：在席責任時間 13:15-14:00

災害情報学会 ポスター発表

P-I01 津波断層モデルを用いた南海トラフ巨大地震にともなう内陸活断層の活動予測

○渡部豪（愛知工業大学）

横田崇（愛知工業大学）

P-I02 研究者による教員防災教育のモデルケースの展開

○五島朋子（東京大学地震研究所）

P-I03 学校教育における防災に対する意識改革のすすめ

○柴山愛（日本大学第三中学校・高等学校）

P-I04 キラウエア火山 2018 年東山麓噴火 —米国流の火山防災対応を探る—

○宇井忠英（環境防災総合政策研究機構）

P-I05 教育機関における安否・所在確認システムの構築に向けた実証実験の追試

○宮脇健（日本大学危機管理学部）

谷口郁生（日本大学スポーツ科学部）

小向太郎（日本大学危機管理学部）

P-I06 Wi-Fi 電波強度を用いた地中のワイヤレスデバイス発見支援システムの検討

○河合怜（富山高等専門学校）

島田拓海（富山高等専門学校）

小泉敦（富山高等専門学校）

小熊博（富山高等専門学校）

P-I07 オープンデータを用いたハザードマップ活用支援システムの構築

- 辰口尚（富山高等専門学校）
- 竹脇壮志（富山高等専門学校）
- 小熊博（富山高等専門学校）

P-I08 災害常襲地域における災害情報の課題－2018年西日本豪雨災害における予備的調査－

- 中村功（東洋大学社会学部メディアコミュニケーション学科）

P-I09 “火の用心”CMキャンペーン効果に関する分析

—京丹波町ケーブルテレビにおけるアクション・リサーチ—

- 西村公貴（京丹波町役場企画政策課情報推進室（京丹波町ケーブルテレビ））
- 近藤誠司（関西大学社会安全学部）
- 松尾晃大（株式会社ジュピターテレコム）
- 芥田慶佑（野村不動産アーバンネット）

P-I10 南海トラフ巨大地震発生時の石油製品の輸送上の課題

- 橋富彰吾（名古屋大学減災連携研究センター）

P-I11 近畿地方のアメダス観測地点における土砂災害被災リスクの空間的特徴

- 宇野宏司（神戸市立工業高等専門学校都市工学科）
- 山本悠太郎（神戸市立工業高等専門学校都市工学科）

P-I12 「全国統一防災模試」による防災意識の啓発と国民の災害対応知識の見える化：地震災害編

- 佐藤翔輔（東北大学災害科学国際研究所）
- 山縣太希（株式会社博報堂第二営業局）
- 橋田和明（株式会社博報堂ケトル）
- 桃井菜穂（株式会社博報堂ケトル）

P-I13 洪水発生時刻に応じた活動空間分布を考慮した避難シミュレーション分析

- 細井教平（株式会社アイ・ディー・エー社会技術研究所）
- 片田敏孝（東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター）
- 中野敦（一般財団法人計量計画研究所）
- 平山大輔（群馬県県土整備部河川課）

P-I14 平成30年大阪北部地震時のツイート分析（続報）：絵文字の利用傾向

- 内田理（東海大学情報理工学部情報科学科）
- 山田実俊（東海大学情報技術センター）
- 宇津圭祐（東海大学情報通信学部通信ネットワーク工学科）

- P-I15 愛知県豊田市における中学校区毎、及びモデル地区での防災カルテ作成に関する報告
○小穴久仁（愛知工業大学地域防災研究センター）
横田崇（愛知工業大学工学部土木工学科）
岸本喜文（豊田市地域振興部市民安全室防災対策課）
鈴木宏光（豊田市地域振興部市民安全室防災対策課）
- P-I16 ソーシャルメディア投稿画像を情報源とする災害状況把握についての一考察
○岩澤昭一郎（情報通信研究機構ユニバーサルコミュニケーション研究所
情報利活用基盤総合研究室）
木俣豊（情報通信研究機構）
佐藤真一（情報通信研究機構／国立情報学研究所）
- P-I17 対応行動データベースを活用したマイ・タイムラインにおける台風災害時避難の学習方法の検討
○有友春樹（日本ミクニヤ株式会社環境防災部）
高橋享輔（香川大学創造工学部）
岩本裕子（日本ミクニヤ株式会社環境防災部）
井面仁志（香川大学創造工学部）
白木渡（香川大学四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構）
- P-I18 360VR カメラによる災害記録のアーカイブ化（第2報）
○森山聡之（福岡工業大学社会環境学科）
栗田航平（福岡工業大学社会環境学科）
鈴木康之（静岡大学工学部）
- P-I19 大雨災害からの住民の事前避難に関する既往研究の活用のための整理と
引用関係グラフによる可視化
○南貴久（東京大学工学系研究科都市工学専攻）
加藤孝明（東京大学生産技術研究所）
- P-I20 黒潮町防災教育会議における議論の変遷に関する考察
～会議録のテキストマイニング分析をとおして～
○小島彰吾（株式会社アイ・ディー・エー社会技術研究所）
片田敏孝（東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター）
- P-I21 防災専門図書館における企画展を利用した防災啓発の取組
～カスリーン台風・水害ハザードマップを題材として～
○堀田弥生（防災専門図書館）
矢野陽子（防災専門図書館）

P-I22 平成30年7月豪雨における情報と避難

- 作間敦（NPO 法人環境防災総合政策研究機構環境・防災研究所）
- 河井大介（NPO 法人環境防災総合政策研究機構）
- 松尾一郎（NPO 法人環境防災総合政策研究機構環境・防災研究所）

P-I23 「南海トラフ地震に関連する情報」に対する住民の対応

—静岡市と高知市の地区比較より—

- 安本真也（東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター）
- 石濱陵（NHK報道局社会番組部）
- 森野周（NHK報道局社会部）
- 関谷直也（東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター）

P-I24 大学における防災体制の現状 —2017年アンケート調査をもとに—

- 山下博之（日本大学危機管理学部）
- 宮脇健（日本大学危機管理学部）
- 福田 充（日本大学危機管理学部）

P-I25 平成30年7月豪雨における人工衛星画像などを活用した浸水範囲の推定

- 宝楽裕（株式会社パスコ）
- 下村博之（株式会社パスコ）
- 山田哲也（株式会社パスコ）
- 堀池泰三（株式会社パスコ）
- 山崎正稔（株式会社パスコ）
- 切川卓也（環境省）
- 高橋健太（環境省）

P-I26 行動選択フローとマップアプリの連携による災害状況に応じた安全確保行動確認
アプリの提案

- 北川悠一（関西大学大学院総合情報学研究科）
- 本間くるみ（関西大学総合情報学部）
- 田中孝治（北陸先端科学技術大学院大学知識科学系）
- 池田満（北陸先端科学技術大学院大学知識科学系）
- 堀雅洋（関西大学総合情報学部）

P-I27 学校現場で利用しやすい防災学習教材の作成について

- 横川剛（気象庁名古屋地方気象台）
- 内田幹也（日本赤十字社愛知県支部）

竹内慎也（日本赤十字社愛知県支部）
横田崇（愛知工業大学地域防災研究センター）
原浩司（気象庁名古屋地方気象台）
高須圭織（気象庁名古屋地方気象台）

P-I28 「南海トラフ地震に関連する情報」の社会的影響

○関谷直也（東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター）
安本真也（東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター）
石濱陵（NHK報道局社会番組部）
森野周（NHK報道局社会部）

P-I29 自然災害の危険性等の地域特性を考慮した類似市区町村算出についての研究

○三浦伸也（防災科学技術研究所）
佐野浩彬（防災科学技術研究所）
半田信之（防災科学技術研究所）
田口仁（防災科学技術研究所）
李泰榮（防災科学技術研究所）
臼田裕一郎（防災科学技術研究所）

P-I30 地域における障害者支援の個人情報の小規模共有に関する検討

○山田高晃（筑波大学大学院システム情報工学研究科リスク工学専攻）
古川宏（筑波大学システム情報工学研究科リスク工学専攻）

P-I31 西日本豪雨における京丹波町上乙見地区の避難事例

○矢守克也（京都大学防災研究所）

災害復興学会 ポスター発表

P-R01 四川大地震から10年を迎えて 一汶川地震十周年・芦山地震五周年被災地復旧・復興学術研究会および第2回(2018年)学校減災教育研究会を中心に一

○林亦中（大阪大学大学院人間科学研究科）
渥美公秀（大阪大学大学院人間科学研究科）

P-R02 災害後の私的支援とソーシャル・キャピタルの分析

○薛欣怡（東京大学大学院学際情報学府）

P-R03 コミュニティFMの番組制作と災害復興・地域防災に関するアクション・リサーチ

○渥美公秀（大阪大学大学院人間科学研究科）

石塚裕子（ひょうご震災記念 21 世紀研究機構）

P-R04 災害ボランティアは行政の補完であるか？ 理想の地域防災計画を求める

○高田昭彦（富士ゼロックス株式会社）

P-R05 集落存続・再建過程における地域コミュニティ維持手法に関する研究

○平木繁（首都大学東京年環境化学研究室都市政策科学域）

P-R06 「世直し」・「立て直し」・「やり直し」－四川大地震から 10 年を経て－

○矢守克也（京都大学防災研究所）